

堺市民会館整備計画検討懇話会  
意見の取りまとめ

平成 24 年 10 月

堺市民会館整備計画検討懇話会

# I はじめに

---

---

## 1. 市民会館の建替えについて

堺市民会館整備計画検討懇話会は、堺市民会館の建替えにあたり、ホール建設や舞台芸術に関する専門家で構成し、新しい施設の基本理念や基本方針、建設予定地、事業計画、施設計画、管理運営計画等の多岐にわたる内容について、平成24年1月を皮切りに計6回の会議を開催し活発な議論を重ねてきました。

懇話会における議論にあたっては、堺市の地理的、歴史的な背景や文化施策の特徴をはじめ、平成24年6月27日から施行されました「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」等の国の動向や他都市の公共ホールの状況などを踏まえ、各委員から専門的見地に基づく様々なご意見・ご提案をいただきました。

どうしてもホールはハードが先にイメージされますが、その場所をベースにどのような文化活動を進めていくのが最も重要であり、各委員から「どのように運営していくかについて、市と設計者、運営者が三位一体となって進めていくことが重要」といった意見がありましたように、施設の運営に携わる人材の確保が新しい市民会館の成功を左右するといっても過言ではありません。

これまでの懇話会で積み重ねてきた議論に基づき作成いたしましたこの意見の取りまとめを新しい市民会館の建設、運営に活かされることを願っております。

堺市民会館整備計画検討懇話会

## 2. 建設予定地について

### (1) 建設予定地

堺市では、堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」をはじめ、「堺市文化芸術推進プラン（改訂中）」や「堺 都心のまちづくりプラン」など、市民を主体とした文化芸術の振興やまちの賑わいづくりなど多岐にわたる行政課題に対応するための様々な施策との整合性からも、新しい市民会館は、人・モノ・情報などの中枢機能が集積する都心地域において建設することは妥当であるといえます。

建設予定地の検討にあたり、「現在の市民会館が有する機能や役割を継承しながら、堺市の中枢文化施設として機能向上が可能な面積であること」、「ホールという大きな空間を中心にロビー、ホワイエ、楽屋など関連する諸室が機能的に配置できるとともに、安全面に配慮した人や車、資機材搬入などの動線の確保が可能な敷地形状であること」、「来場者が必要に応じて多様な交通手段を選択することができる立地環境であること」などは重要な要素です。

さらに、相当規模の敷地を新たに買収する費用や時間、敷地確保に関するリスクを軽減し、事業を円滑に推進できるという面から、市有地の活用を前提とすることは妥当と考えます。

加えて市民アンケートやワークショップにおいても、新しい市民会館の立地については「公共交通や車で行きやすい場所」「市の中心部」「緑の多い環境」といった希望やご意見が示されています。

このような観点から検討した結果、新しい市民会館の建設予定地は、現在の市民会館の敷地約 11,900 m<sup>2</sup>に、隣接する公用車駐車場約 2,000 m<sup>2</sup>、都市計画公園約 2,000 m<sup>2</sup>を含め一体的な整備を行うことが妥当であると考えます。

### (2) アクセスルート

現在の市民会館利用者から「案内が不十分でわかりにくい」「夜道が暗い」といった意見があることや、各委員から「明るさや賑わいの演出が必要」「夢を見ることができる通りに演出できれば良い」など「駅からのアクセスの重要性」について意見がありました。

今後整備される市民交流広場や翁橋3号線を通るルートについて、歩道の再整備やサイン設置等を図るとともに、他のルートについてもサイン設置や街路灯を増設するなど、来場者の利便性や回遊性の向上を図る必要があり、市をあげて慎重に検討していただきたい。

## Ⅱ. 基本的な考え方

---

---

### 1. 新しい市民会館に求められるミッション

新しい市民会館に関連する上位計画である“堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス（平成23年3月）”と“堺市文化芸術推進プラン（改定中）”など堺市の芸術文化振興の全体的な方向性を勘案すると、新しい市民会館のミッションは以下のように設定することが望ましいと考えます。

#### （1）新しい堺の文化や都市イメージの創造・発信

- ・優れた文化芸術を堺市から国内外に発信することにより、文化による新たな都市イメージを創造・確立
- ・堺独自の市民文化・都市文化を成熟させ、都市のシンボルとして対外的に発信

#### （2）市民の文化・交流・創造活動を支援

- ・多様な市民の文化芸術活動を支援するため、創造・発表の場を充実
- ・多様な地域・分野における文化交流を促進し、新しい市民文化の創造活動を活性化

#### （3）文化芸術の普及・人材の育成

- ・文化芸術を身近に感じる環境づくりへの取組み
- ・文化芸術の未来を担う次世代の人材を育成

#### （4）地域の活性化とまちづくりに寄与

- ・集客力を活かした地域の活性化
- ・周辺環境との調和により、良好な都市景観を形成

### 2. 新しい市民会館の2つの性格

新たな市民文化・都市文化の創造に結びつき、対外的に発信するためには、「裾野の広がり・奥行き」と「層の厚み」が必要であり、市民文化の「広がり・奥行き」と「厚み」をつくるためには、以下の中核文化施設と地域文化施設の2つの性格が相互に連携することが必要です。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○広く関西圏を視野に入れ、南大阪における文化芸術の新たな創造・交流・発信の拠点</li><li>○堺区における地域文化施設</li></ul> |
|---|

### 3. 基本理念及び基本方針

新しい市民会館に求められるミッションと2つの性格を踏まえ、新しい市民会館の基本理念と基本方針は、以下のように設定することが望ましいと考えます。

#### (1) 基本理念

文化芸術による感動・喜びを通じて都市魅力を創造し、国内外へ発信

#### (2) 基本方針

##### 機能や役割の継承・発展

- これまで市民会館が担ってきた「多様な文化芸術を鑑賞する場」「文化芸術活動の場」「文化芸術等を通じた交流の場」等の機能や役割を継承
- 国内外の優れた文化芸術に触れる機会を提供するため機能を充実・発展
- より高度で多様な文化芸術を創造・発表する環境を整備

##### まちづくりの視点

- 単に文化機能の整備にとどまらず、ひとつのまちづくりとしてとらえ、都市イメージや都市格の向上、賑わいを創出
- 魅力的な文化芸術を内外に発信することにより、新たな都市イメージを創造・確立
- 市民主体の文化芸術活動等を通じて多様な交流やまちの賑わいを生み出し、その流れを市域全体の活力につなげる。
- 高いデザイン性、豊かな緑との調和など良好な都市景観の形成に努め、魅力と風格ある都市づくりに寄与
- 環境モデル都市・堺として環境への配慮とともに、防災面にも配慮した施設づくりと周辺整備

##### 市民との協働の促進

- 文化芸術に対する関心・意欲を高めることで市民の参加を促進
- 幅広い分野にわたる多様な参加形態による市民との協働・連携
- 多くの市民に永く親しまれ、愛され続けるような取り組みを推進

## Ⅲ. 事業計画

---

---

### 1. 事業方針

事業の推進にあたり、以下の方針に基づき多様な事業に取り組んでいくことが必要です。

公演事業については、既存の公演を受け入れるだけでなく、クオリティの高い創造的活動や多くの幅広い市民が参加するコミュニティ事業を行うことで、都市格をあげるとともに施設のイメージを明確に発信することが出来ます。これらを推進することで、他では行われていないような独自の文化的なフェスティバルが生まれるのを期待しています。

また、収益性と公益性（コミュニティ事業）のバランスをとるとともに、事業の3つの要素（事業費、人材、マーケティング）に留意しながら事業を進めることが大切です。

新しい施設の規模、内容、堺市の立地、歴史的背景等を踏まえると、アジアをはじめとする海外への発信を念頭に入れるべきであると考えます。

優れた舞台芸術などを鑑賞する機会の提供

多様な文化芸術を創造し、国内外へ発信

多様な文化芸術と市民との交流を促進

### 2. 事業内容

新しい施設において、以下のような事業を展開することを提案します。

#### （1）鑑賞事業

市民が優れた舞台芸術などを「鑑賞」する機会の提供

○優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供

⇒文化による新たな都市イメージの創造・確立

○国内外の多彩な文化芸術を鑑賞する機会を拡充

⇒市民文化の活性化、まちの賑わいの創出

#### （2）創造・発表事業

多様な文化芸術を「創造・発表」する環境の整備

○堺を拠点に優れた舞台芸術・音楽活動に取り組む団体との連携

- ⇒堺市独自の文化の創造と発信
- 市民が日頃の活動成果を発表することができる檜舞台として整備
  - ⇒さらなる創造・発表への意欲の増進
- 多様な文化芸術や参加者の相互の交流を促進
  - ⇒新たな市民文化の創造に寄与

### (3) 普及・育成事業

市民が多様な文化芸術と「交流」する機会の提供

- これまで文化芸術に接する機会がなかった市民に気軽に文化芸術を親しむことができる機会を提供
  - ⇒より多くの市民に文化芸術に対して興味や関心を持ってもらうことにより、文化芸術活動の裾野を拡大
- 文化芸術活動の新たな担い手となる子ども達が、幼少期から優れた文化芸術に触れる機会の充実
  - ⇒豊かな感性や創造性を育む

## 3. 事業の考え方

新しい施設で実施する自主事業（鑑賞事業）は館主催・共催事業のほか、一般的には貸館に分類される商業公演等の誘致も自主事業の定義に含めて考えた場合、大ホールの自主事業の利用割合を60%程度（年365日のうち、施設の利用可能日数を300日と設定した場合180日）に設定することが妥当であると考えます。

演目は、国内外のオーケストラのクラシックコンサートやオペラからポピュラー、軽音楽をはじめミュージカルなど優れた舞台芸術公演やファミリーコンサートなど舞台芸術の普及に繋がる事業を併せて行うことが想定されます。

小ホールについては、市民文化団体等の利用を中心とした貸館が想定され、自主事業は室内楽、演劇をはじめとする多彩な分野の公演や新進アーティストを活用した公演、演出家や専門家等の解説を交えた普及型事業などを実施することが重要です。

## 4. 事業計画における留意点

事業の展開にあたっては、以下の点に留意する必要があります。

### (1) 連携強化

堺を拠点に優れた文化芸術活動を展開している堺シティオペラや大阪交響楽団をはじめとする市内文化芸術団体や学校等との連携強化

## (2) バランス

収益性の高い商業公演等と芸術性や地域性の高いプログラム、市民の文化力向上に向けた体験交流プログラム等のバランスに配慮し、持続的な事業展開

## (3) 複眼的アプローチ

重要度や優先度を明確にするなど、短期的・中長期的な取組みの仕分けによる戦略的な事業展開

## (4) 相乗効果

相互の事業が連携しながら最大効果が得られるような事業展開



## IV. 施設計画

---

### 1. 施設方針

事業計画に示した事業を実施するために、また塚らしいシンボリックな文化施設として機能し、まちの賑わい創出に寄与していくために、次のような方針で施設整備を進める必要があります。

#### (1) 多様な文化芸術に適応した施設づくり

国内外の優れた文化芸術公演に適応できる施設規模・設備等を整備するとともに、市民の多彩な文化芸術活動に柔軟に対応できる使い勝手のよい施設づくりを進める必要があります。

#### (2) 新たな都市空間の創出

中枢文化施設にふさわしい高いデザイン性を有するとともに豊かな緑との調和など良好な都市景観を創出し、魅力と風格ある都市づくりに寄与する必要があります。

また日常的に人が集う空間として、ソフト面と連動した空間的仕掛けづくりが必要です。

#### (3) 市民に親しまれ、愛され続ける施設づくり

たくさんの市民が集い、賑わう場所として、ユニバーサルデザインに十分配慮し、高齢者や子ども連れの方など誰もが利用しやすい快適な空間づくりを進める必要があります。

#### (4) 環境モデル都市・塚としての公共施設

新エネルギーシステムや省エネ技術の導入など低炭素型公共施設をめざす必要があります。

#### (5) 防災機能の充実

災害発生時の一時的な避難場所として、帰宅困難者等へ食料品、飲料水、トイレ、災害情報、休憩スペース等の提供に寄与するため、非常用自家発電装置の整備や防災備蓄倉庫の設置など防災機能の充実に努める必要があります。

### 2. 施設の構成と内容

現在の市民会館が有する施設機能を確保し、新たな市民会館の基本理念、事業方針の実現に求められる施設機能を踏まえて、「ホールエリア」「交流・創造支援エリア」「共用エリア」「管理運営エリア」の大きく4つの空間で施設を構成し、相互に関連づける必要があります。

区分	用途	主な施設内容
ホールエリア	優れた舞台芸術や多彩な公演、発表会など	大ホール ・音楽利用に重点をおいた多機能ホール 客席：2,000席～2,200席を基本とする。 催し物の規模（現市民会館程度の利用）に応じた客席の使い分けを検討（イニシャル・ランニングコストに配慮） 舞台：主舞台、両袖に主舞台と同程度のスペース
	室内楽コンサート、市民の多様な舞台芸術の発表会、集会など	小ホール ・市民の多様な文化芸術活動に対応したホール性能 ・室内楽コンサートから小規模な演劇まで、プロでも十分満足できるような高度なホール性能 客席：300席程度（固定席）
交流・創造支援エリア	日常的な練習、小規模な発表会や集会など	リハーサル室、練習室、工房、会議室
共用エリア	ロビー、カフェなどで構成する利用者の共用空間	エントランスロビー、託児スペース、カフェ、駐車場、駐輪場など
管理運営エリア	事務室、機械・電気室、警備員室等で構成する施設管理のための空間	管理事務室、倉庫、機械・電気室など

### 3. その他施設計画における留意点

#### (1) 安全・安心への配慮

大勢の観客等を安全に避難誘導できる動線の確保及び、施設のバリアフリー化や館内表示への配慮など

#### (2) 同時利用への配慮

防音、防振機能の充実はもとより、適切な動線の確保、サービスヤードを含めた効率的な諸室の配置など

#### (3) ランニングコスト等の縮減

使用目的や頻度を考慮した舞台機構や装置、設備の導入

## V. 管理運営計画

---

### 1. 管理運営方針

事業を効果的かつ円滑に実施することができるよう、また施設を効率的に利用していくため、次の6つの事項を管理運営方針として進めていく必要があります。これらの事項は相互に関連しており、全体的にバランスよく管理運営を進めていくことが大切です。そして利用者の満足度を高め、同時に事業・施設利用のコストパフォーマンスも高めることが大切です。

また、管理運営などに対する市民や市内文化芸術団体等のニーズを十分に把握するとともに、費用対効果や運営経費、事業実施や貸館の実績や成果を以降の管理運営内容の改善に活かせるようなPDCAサイクルの仕組みづくりを行うことが必要です。

#### (1) 公益性と収益性のバランス

堺市の文化力の向上を担う公共施設として、事業の質・内容、貸館システム等において公益性・公平性を担保しつつ、施設の稼働率の向上、チケット収入、利用料金をはじめ協賛金や寄付金等の外部資金の積極的な獲得など収益性の確保に努める必要があります。

#### (2) 利用者サービスの向上

利用者や来場者に「また利用したい」「また公演を観に来たい」と思ってもらえるように、施設や設備機能等のハード整備の工夫をするとともに、柔軟な管理運営に努める必要があります。

またスタッフ全員が「おもてなしの心」を持って質の高いサービスを提供していくため研修等を継続的に実施し、職員の能力向上を図る必要があります。

#### (3) 管理運営・事業の評価

第三者による評価機関等により、定期的に管理運営や事業等の評価、サポートを行うとともに、利用者アンケートを実施するなど、市民等にとって利用しやすい魅力ある施設づくりをめざす必要があります。

#### (4) 人材育成

アウトリーチやワークショップなどホール以外での活動を中心的に担う人材として、「ホール」と「地域」を繋ぐリーダーや市民ボランティア等を育成することが大切です。

また、次代を担う子どもたちが文化芸術活動に触れることができる機会を提供し、創造性を育むとともに、将来の良き理解者を育成していくことが大切です。

#### (5) 周辺地域との連携

商業施設や地域のイベントなどと連携したPRやサービスを行うことで、まちの賑わいの

創出に寄与するとともに、公演の有無に関わらず、地域の人々が集うような仕掛けづくりを検討することが大切です。

## (6) 積極的な情報の公開

管理運営や事業等の評価、財務状況や利用者の声など、積極的に情報を公開し、透明性を確保するとともに市民に開かれた施設の運営を行う必要があります。

## 2. 管理運営組織

文化芸術活動の中核施設として新しい市民会館の円滑な管理運営を担う組織には、以下のような多様な専門的機能が求められます。そのほか、必要な組織の機能を備えるために、中・長期的な視点のもと文化芸術に関連する専門的な人材を育成・採用していくことや、外部組織との連携や委託等により補完するなど柔軟に対応していく必要があります。

また、継続的な運営のために、施設の命名権の売却や、企業や個人からの協賛金・寄付金、国等からの各種助成金など、民間資金や公的資金の多様な財源を確保するためのファンディング機能を組織の中に組み込んでいく必要があります。

そして、友の会制度は財源の確保だけではなく、広くこの施設の事業の本質を理解してもらい共感してもらう大事な機会として捉えることが重要であり、市民としてサポートする会になっていかなければなりません。

部門	機能	内容
事業系	プロデュース機能	・ネットワークを活かし、優れた舞台芸術や魅力的な商業公演等を誘致できる機能
	企画・営業機能	・自主公演を企画し実施するとともに、公演チケットの営業や販売を行う機能 ・協賛金や寄付金等の外部資金を獲得する機能
	普及・育成機能	・地域や学校を対象としたアウトリーチ事業や参加体験型プログラムの企画・実施など、文化芸術活動の裾野を広げるための機能
技術系	舞台技術機能	・舞台機構、照明、音響など、国内外の優れた舞台芸術や市民の文化芸術の発表等の多彩な公演のオペレーションを円滑に行う技術的な機能
総務系	総務系機能	・施設の維持管理運営に係る経理的な事務や、その他庶務全般を滞りなく執り行う機能 ・各種修繕など、施設全体の維持管理に係る機能

なお、館長、プロデューサー、技術責任者等を早期に決め、そうした専門家と市が一体となり、どのように運営していくのか検討することが大切です。また、開館に向けた準備体制も明確化し、開館準備を進める必要があります。

そうした体制のもとに、市民の方々が新しいホールができていくのだなと気持ちが高ぶる中で、事業の組み立てをはじめ、商店街や広場等を利用し文化芸術活動を活性化するための仕掛けをするなど、多くの市民に新しいホールの考え方を体感していただく取り組みを施設ができる前から進めることが、まちづくりや市民交流、市民参加に繋がり、とても有益であると考えられます。

### 3. 運営手法

市民会館の運営にあたり、大きく「市による直営」と、「指定管理者による運営」の2通りの手法がありますが、いずれの運営手法をとるにせよ、市民会館は市の文化芸術活動の中核施設であり、基本理念等にかかれてある役割と機能を十分にかつ安定的に発揮することができる運営手法が必要で、文化芸術に係る専門性の高い知識や技術が求められます。市民協働のもと文化芸術環境を継承・発展させるとともに経営的視点を重視しながら、堺市の文化政策を効果的に推進していく組織の在り方を十分に検討していただきたい。

なお、単独の指定管理者による管理運営方式のほか、例えば公益財団法人が民間事業者と組むなど、それぞれの専門分野における特徴を活かして応募してくるJV方式など、これから先も複雑なパターンが生まれてくることが考えられることから、それらのメリット・デメリットを適切に把握して最善な運営体制を検討していただきたい。

### 4. その他管理運営計画における検討事項

開館時間・休館日、利用料金、申込・利用ルール等については、多様な利用者にとって利便性が高く、施設本来の役割を十分に果たすことができるよう、時代に応じた設置条例をつくることを検討していただきたい。

また、公演やイベント等のスケジュールをはじめ施設の情報をより多くの人に広く知ってもらうため、多様な情報媒体を活用するとともに、新たな情報媒体や最新の情報システム等を活用し、適時、的確な情報を広く広報できるよう検討する必要があります。

## 堺市民会館整備計画検討懇話会 委員名簿

	氏名	役職等
	かわしま のぶこ 河島 伸子	同志社大学経済学部教授
	たご すすむ 多胡 進	大阪市立大学名誉教授
	たむら たかこ 田村 孝子	静岡県コンベンションアーツセンター 館長
座長	つむら たかし 津村 卓	北九州芸術劇場館長
	にしお ともこ 西尾 智子	有限会社ダンスウエスト代表取締役
副座長	はしづめ しんや 橋爪 紳也	大阪府立大学特別教授
	もとすぎ しょうぞう 本杉 省三	日本大学理工学部教授

(50音順・敬称略)

## 堺市民会館整備計画検討懇話会 開催経過

開催日	出席委員	案件
<b>第1回</b> 平成24年1月30日（月）	河島委員 多胡委員 津村座長 西尾委員 橋爪委員 本杉委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本理念及び基本方針について</li> <li>・ 建設予定地について</li> </ul>
<b>第2回</b> 平成24年4月12日（木）	多胡委員 津村座長 西尾委員 橋爪委員 本杉委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画について</li> </ul>
<b>第3回</b> 平成24年4月23日（月）	河島委員 多胡委員 津村座長 西尾委員 本杉委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画について</li> <li>・ 施設計画について</li> </ul>
<b>第4回</b> 平成24年5月14日（月）	河島委員 多胡委員 津村座長 橋爪委員 本杉委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画について</li> <li>・ 施設計画について</li> <li>・ 管理運営計画について</li> </ul>
<b>第5回</b> 平成24年6月25日（月）	河島委員 多胡委員 津村座長 橋爪委員 本杉委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設計画について</li> <li>・ 管理運営計画について</li> </ul>
<b>第6回</b> 平成24年7月23日（月）	河島委員 多胡委員 津村座長 橋爪委員 本杉委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセスルート</li> <li>・ 懇話会としての意見の取りまとめ（案）</li> </ul>